

はが

地域の特長を活かそう！

波賀地域福祉推進委員会



真剣な協議の中にも談笑あり
ついつい委員会は長時間に

地域福祉推進委員会とは、旧町社協の理事会にあたる組織で、支部の福祉課題を共有し解決に向けての協議や、事業の円滑な推進をはかることを目的に設置しています。また、地域の特長を活かし支部にあった地域福祉活動の推進を目指します。

波賀支部では、この委員会を7月3日に開催しました。社協会長から委嘱状交付のあと正副委員長を選任し、第2期委員会がスタートしました。

＜ 波賀地域福祉推進委員会 構成メンバー ＞

(敬称略)

連合自治会	小椋清之助
民生委員児童委員協議会	榎谷和人 (副委員長)
婦人会	竹森智鶴
福祉施設	船積攝子
ボランティア連絡会	上山まさ代
地区福祉連絡会の代表	坂本哲夫(谷)
	谷尻博美(上野)
	丸井孝雄(原)
行政	田中正春
社協理事	谷尻昭雄 (委員長)

※以上の10名で構成

18年度の事業報告や今後予定している「自治会別懇談会」、共同募金の配分金を活用した「ふれあいコンサート」や「小地域福祉活動推進」について検討し、それぞれの立場から意見をいただき、開催時期や活動方針を決定しました。他の支部でも同様の委員会が設置されており、まさに支部中心の社協活動が、今、始まるうとしています。

(波賀支部 森井裕矢)

ちくさ

笑った！ 笑った！

「にぎやかに言った。
楽しかった」

千種支部では、7月17日、「ほほえみ会」(一人暮らし高齢者のつどい)を、ちくさ高原で開催し、28人が参加されました。

前日からの台風と新潟中越沖地震を心配しながらも、集まった久しぶりの面々に「どんな？元気にしよったか。」「久しぶりやなあ。」と声を掛け合っておられました。

ちくさ高原名物の「せせら



「みんなで食べるとおいしいわぁ」

ぎ弁当」を食べた後は、高原内の体育館でグラウンドゴルフを行いました。

「玉が入っても入らんかったもおもしろいなあ。」「雨続きで外に出れなんだでー動いたわ。」「今日は、大勢に出会って楽しいわあ。」と、それぞれにリフレッシュされたようでした。

「今日いっぱい笑ろうたんを英気に、明日から頑張れる。」とのうれしい声も聞けました。今後は、一人でも多くの方に参加していただけるよう、参加者のみなさんと一緒に企画していければと考えています。

(千種支部 山本めぐみ)



「えいっ！ そらっ！」
「思うようにならんあ」